

フォーラムエンジニアリング 非公開化に向けた方針について

スキルがつながる世界へ。

株式会社フォーラムエンジニアリング

(東証プライム：7088)



本日11/10開催の当社取締役会において、KJ003株式会社による公開買付けに賛同の意見を表明し、株主の皆様に対して公開買付けへの応募^(注)を推奨することを決議いたしました。

公開買付者	KJ003株式会社 (Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P. (以下「KKR」といいます) の運営ファンドが管理運営する国内法人)
公開買付期間	2025年11月11日 ～ 12月23日 (30営業日)
買付価格	普通株式1株につき1,710円
プレミアム	公表日 (11/10) の前営業日 (11/7) 終値1,275円に対して、34.12%のプレミアム 直近1か月 (10/8-11/7) 終値の単純平均値1,249円に対して、36.91%のプレミアム 直近3か月 (8/8-11/7) 終値の単純平均値1,280円に対して、33.59%のプレミアム 直近6か月 (5/8-11/7) 終値の単純平均値1,215円に対して、40.74%のプレミアム
買付予定株数	下限：15,613,500株 (買付予定株数の下限は、当社の総株主の議決権 (潜在株式考慮後) の3分の2から、非公開化に合意している株主が保有する不応募合意株式及び取締役が保有する譲渡制限付株式に係る議決権の数を控除した数を踏まえて設定)
公開買付成立後	公開買付者 (KJ003株式会社) の完全子会社となり、2026年4月下旬～5月中旬に非公開化 (上場廃止) 予定
2026年3月期中間配当 および期末配当	実施せず
中期経営計画 「cognavi Vision 2026」	前倒し終了
その他	■ KJ003株式会社は、株式会社ラテールホールディングス (当社創業者の資産管理会社であり、当社筆頭株主 37.07%保有)、一般社団法人ラテールネクスト (当社第三位株主 7.11%保有) 及び大久保泉氏 (当社第二位株主 7.51%保有) との間で、基本契約及び応募契約を締結し、これらの大株主 (計51.69%保有) との間で、本非公開化について合意 ■ KJ003株式会社による公開買付けののち、2026年3月上旬に自社株公開買付けを実施予定

(注) なお、新株予約権者の皆様が当該公開買付けに応募するか否かについては、新株予約権者の皆様のご判断に委ねる旨を決議しております。

現状の課題

当社を取り巻く市場環境や経営環境の変化

経営課題の解決に単独で
取り組むには時間がかかり、
市場での好機を逃すリスク

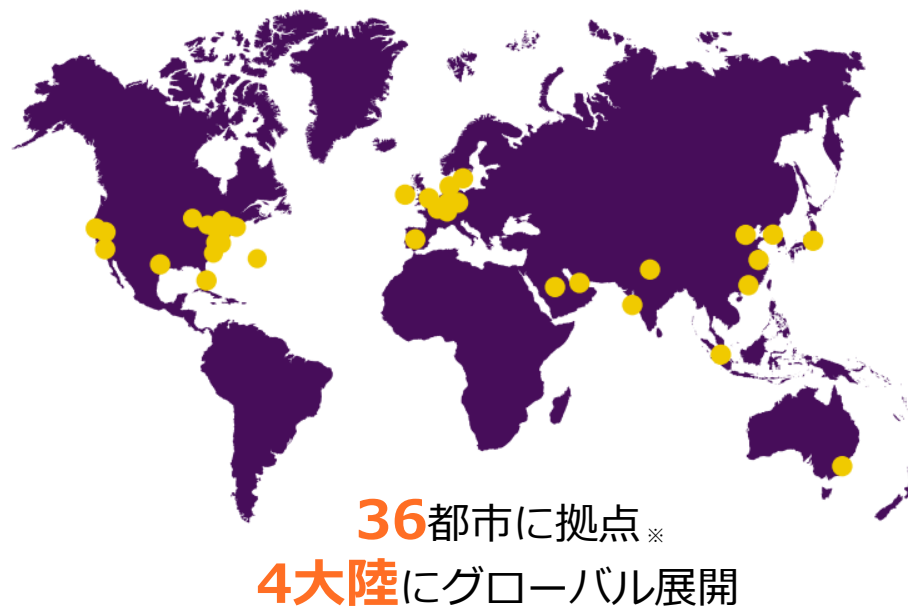
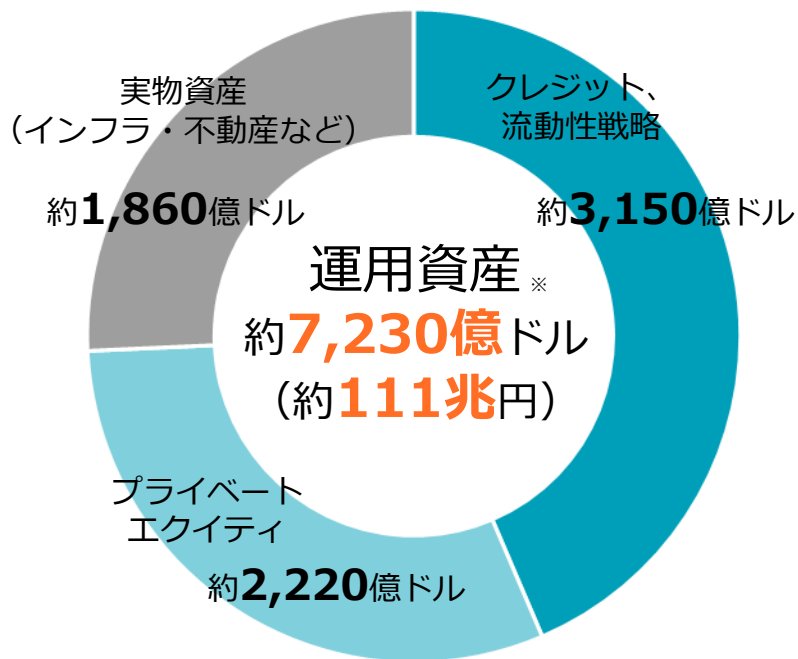
十分な投資ができないことによる
機会損失の可能性

さらなる成長を実現するためには、新しいパートナー企業による
資本参加を含む、様々な取り組みの検討が必要

非公開化のメリット

- ① 適宜適切に大胆な投資施策が可能
- ② 短期的な売上高の縮小や業績の浮き沈みを気にせず、中長期的な視点での経営判断が可能
- ③ 経営課題を解決する能力や知見を備えた新たなパートナーの資本参加を得て、課題解決にスピーディに取り組めるようになる

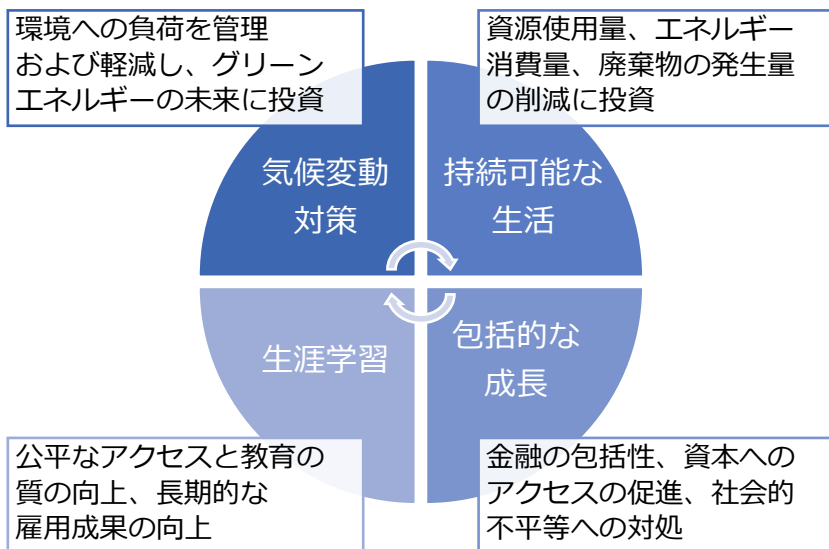
1976年に設立されたKKRは、世界で最も歴史と経験のある総合資産運用会社であり、中でもプライベート・エクイティ投資においては業界の創始者として知られています。2006年に東京オフィスを開設以降、日本市場での投資活動を積極的に拡大しています。



※ 2025年9月時点。\$1=¥153で計算
出所：KKR公開資料

KKRグローバル・インパクト戦略は、気候、持続可能性、社会的公平性に焦点を当てた、中規模市場のプライベートエクイティ投資戦略です。

投資テーマ



投資実績



2つのファンドを通じて
累計**20億**ドル超を投資



世界**12**か国で**21**件
の投資を実行



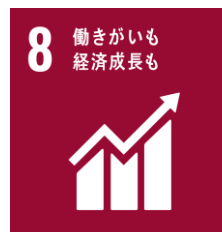
創設以来**13**の
SDGs達成に貢献

※出所：「KKR 2024 Global Impact Summary」

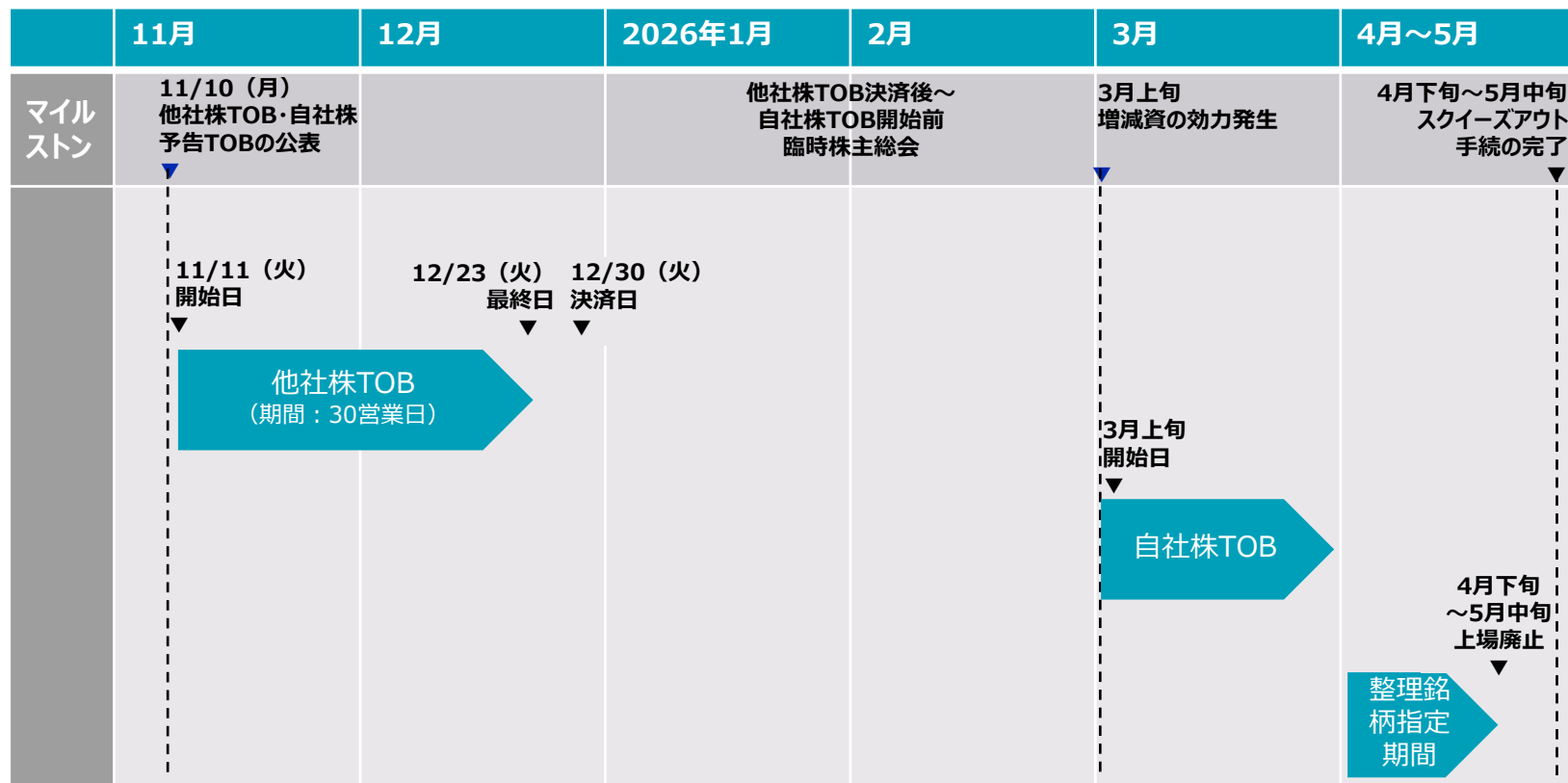
本件はKKR Global Impact Fundの

日本における第1号案件

AIによるスキルマッチングプラットフォーム
の発展や、研修・人材育成を更に推進



本件に係る手続きを所管する当局の対応等により変動する可能性があります。
他社株公開買付け成立後のスケジュールの詳細については、決定次第速やかにお知らせします。



本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。
将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「予想する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。

将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。
そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。
従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。

本資料に掲載されている情報は、日本語で作られています。英語翻訳による情報は、海外の投資家の便宜を図る目的から提供しているものです。日本語と英語での解釈に相違がある場合、日本語が優先します。



株式会社フォーラムエンジニアリング

▼お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール： ir@forumeng.co.jp